

夢の極超音速航空機を目指して -ガスタービンから未来へ-

講師：佐藤 哲也 氏（早稲田大学）



極超音速航空機（画像は生成AIで作成したイメージです）

これまで、ガスタービンの一種であるジェットエンジンは、航空機を支える中核技術として大きな進化を遂げてきました。燃費や環境性能の改善は、カーボンニュートラルやSDGsの達成に直結するものです。そして今、その先にある挑戦が、**極超音速航空機**や**再使用型宇宙往還機の実現**です。東京～ロサンゼルスで2時間で結ぶ「夢の極超音速飛行」を実現するために、日本ではATR、予冷ターボジェットなどの液体水素を燃料とするターボジェットエンジンの研究開発が進められています。本講演では、極超音速航空宇宙輸送機の可能性と未来に向けた我々の取り組みについて紹介します。

日時： 2025年10月7日（火） 午後2時40分～4時10分（午後2時10分開場）

場所： 長岡技術科学大学 講義棟1階 103講義室
〒940-2188 新潟県長岡市富岡町1603-1

主催： 公益社団法人 日本ガスタービン学会

共催： 長岡技術科学大学

対象： 高専生、大学生、高校生、一般の方（いずれも専門知識は必要ありません）

参加： 無料（直接会場へお越しください）

